

コーヒーメーカー保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。この製品は持込修理対象製品ですので、郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様負担となります。

型名	EC-KT50		修理メモ
※お客様 お名前	電話番号		
※お客様 ご住所 〒			
※お買い上げ日 年 月 日	※販売店名・住所・電話番号		
保証期間 お買い上げ日より 本体1年			

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・虫害・ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧・指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (チ) 消耗品などの交換。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

- お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社

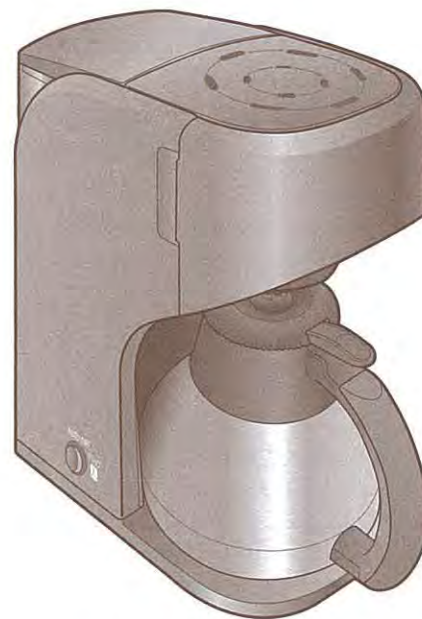
〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 電話 (06)6356-2451

コーヒーメーカー

珈琲通®

型名 EC-KT50 型

取扱説明書



- このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

保証書つき

もくじ

お使いになるまえに

- 安全上のご注意 2
- 各部のなまえ 4

使い方

- 使い方 5

お手入れ

- お手入れ 8
- クエン酸洗浄のしかた 10
- 各部のはずし方・つけ方 11

困ったときに

- 故障かなと思ったとき 12
- 部品の交換・購入について 12
- 仕様 13
- アフターサービス 13
- お客様ご相談窓口 14
- 保証書 裏表紙

愛情点検

長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を!



こ
あ
り
な
ま
せ
ん
状
況
は
か

- ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる
- 焦げくさいにおいがする
- 製品の一部に割れ・がたつき・緩みがある
- その他の異常や故障がある

ご
使
用
中
止

こんな症状のときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ず販売店に点検（有料）をご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

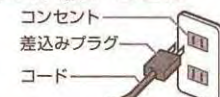
■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。	注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。
--------------------------------	--

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。	⚠ 実行しなければならない「指示」内容です。
--------------------	------------------------

警告

<p>分解禁止 改造はしない。また修理技術者以外の人、分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。</p>	<p>禁止 ステンレスサーバーなしで使わない やけどの恐れがあります。</p>
<p>水ぬれ禁止 本体を水に浸けたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因になります。</p>	<p>禁止 コードを傷つけない 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。</p>
<p>ぬれ手禁止 コードや差し込みプラグを液体に浸けたり、かけたりしない ショート・感電の恐れがあります。</p>	<p>必ず実施 差し込みプラグは根元まで確実に差し込む 感電・ショート・発煙・発火の原因になります。</p>
<p>ぬれ手禁止 ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししない 感電・けがの恐れがあります。</p>	<p>必ず実施 定格15A以上のコンセントを単独で使う 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。</p>
<p>接触禁止 蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない やけどの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。</p>	<p>必ず実施 差し込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よくふく 火災の原因になります。</p>
<p>禁止 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない やけど・感電・けがの恐れがあります。</p>	<p>必ず実施 異常・故障時には、直ちに使用を中止する そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがの原因になります。</p>
<p>接触禁止 交流100V以外では使用しない 火災・感電の原因になります。</p>	<p>必ず実施 異常・故障例 ●コードや差し込みプラグが異常に熱くなる ●コードに深い傷や変形がある ●焦げくさいにおいがする ●製品の一部分に割れ・がたつき・緩みがある ●コードを動かすと、通電したりしなかったりする ●スイッチを入れても動かない ●本体から水漏れする</p>
<p>接触禁止 コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。</p> 	<p>必ず実施 このような場合は、すぐに差し込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する</p>

注意

<p>接触禁止 使用中や使用後しばらくは高温部（蒸気口・スイングバスケットなど）に手を触れない やけど・けがの恐れがあります。</p>	<p>禁止 ステンレスサーバーを載せたまま本体を動かさない やけど・けがの恐れがあります。</p>
<p>禁止 壁や家具の近くで使わない 蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。</p>	<p>必ず実施 水タンクに水を入れて取りつけたあとは、本体からはずしたり、動かしたりしない やけど・水漏れ・故障の原因になります。</p>

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

注意

<p>禁止 熱に弱い敷物の上では使用しない 火災の原因になります。</p>	<p>必ず実施 使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。</p>
<p>禁止 不安定な場所では使用しない やけど・けがの恐れがあります。</p>	<p>必ず実施 お手入れは冷めてから行う 高温部に触れ、やけどの恐れがあります。</p>
<p>禁止 ドリップ中にステンレスサーバーをはずさない やけどの恐れがあります。</p>	<p>必ず実施 差し込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く 感電・ショート・発火の原因になります。</p>
<p>禁止 火気の近くで使用しない 火災の原因になります。</p>	
<p>禁止 ドリップ中は水をつぎ足さない コーヒがあふれて、やけどの恐れがあります。</p>	

お願い

<p>■ステンレスサーバーを電子レンジで使用したり直火（ガス台など）や電気ヒーター・IH調理器などの上に載せない 発煙・発火・とっ手の変形・金属部から火花が飛び散る原因になります。</p>	<p>■細挽き粉を使用しない コーヒがあふれて、やけどの恐れがあります。</p>
<p>■水タンクに水以外のものを入れない 牛乳・酒・コーヒ・湯など、水以外のものを水タンクに入れると故障の原因になります。</p>	<p>■計量スプーンのコーヒカップ用すりきり5杯（約35g）を超えるコーヒ粉を入れない コーヒがあふれて、やけどの恐れがあります。</p>
<p>■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない 蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。</p>	<p>■水タンクに水を入れたまま放置しない 故障・変色・におい・腐敗の原因になります。</p>
<p>■続けてコーヒを作る場合は、スイッチランプが消灯した状態で、5分以上待つ 本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると、浄水フィルターから突然蒸気や熱湯が出て、やけどの恐れがあります。</p>	<p>■専用のステンレスサーバー以外は使用しない コーヒがあふれて、やけどの恐れがあります。</p>
<p>■ステンレスサーバーは、落としたり、固いものにぶつけたりしない 樹脂部分が破損したり、ステンレスサーバー表面がへこみ、保温性能が低下することがあります。</p>	<p>■ステンレスサーバーを外側の底に貼っている底シールは絶対にはがさない さびや穴あきなど故障の原因になります。</p> 
<p>■空だきはしない 水タンクに水を入れずに通電すると故障の原因になります。</p>	<p>■ドリップ直後にペーパーフィルターを直接触らない やけどの恐れがあります。</p>
<p>■屋外で使用しない 故障の原因になります。</p>	<p>■使用中にスイングバスケットを開けない やけどの恐れがあります。</p>
<p>■使用中や使用後しばらくはスイングバスケットの下に手を入れない 湯が垂れて、やけどの恐れがあります。</p>	<p>■テーブルからはみ出した状態で使用しない けが・やけどの恐れがあります。</p>
<p>■カーペット・布製のテーブルクロスの上では使用しない コーヒが飛び散る恐れがあります。</p>	<p>■ステンレスサーバーをドリップ以外の目的で使用しない。特に次のものは絶対に入れない ●みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの ステンレスサーバー内側は、18-8ステンレスを使用しておりますが、さびたり、保温力が低下する原因になります。</p>
<p>■水にぬれた場所で使用しない 感電の恐れがあります。</p>	<p>●牛乳・乳飲料・果汁など 成分が腐敗することがあります。</p>
<p>■ステンレスサーバーを倒したり、レバーを押しのまま持ち運びしない 内容物が漏れて、やけどの恐れがあります。</p>	<p>●果肉・お茶の葉 詰まる・漏れるなど故障の原因になります。</p>

各部のなまえ

フィルターケース (着脱式→P.11)

蒸気口
水タンクふた

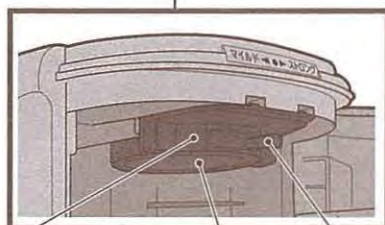
水タンク
(着脱式→P.5)

スイッチ
●「入」側に押すと
スイッチランプが
点灯

コード
差込みプラグ

結束バンド

●使用の際にはコードを束ねている結束バンドをはずしてください。
●コードは束ねて使用しないでください。
(コードが熱くなり、故障の原因になります。)



浄水フィルター
(繊維状の活性炭入り、着脱式→P.11)

浄水フィルターに沸とうした湯を通し、カルキ臭を減らします。

●水質などにより、浄水フィルターが変色(茶色)することがありますが、使用上差しつかえありません。

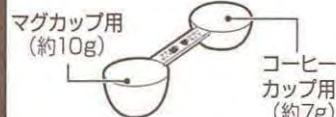
湯出口

濃度調節レバー
●3段階の濃度調節ができます。



マイルド (薄い) レギュラー (普通) ストロング (濃い)

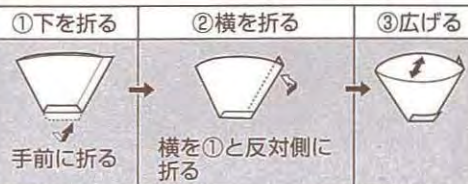
●計量スプーン
(すりきり一杯で使用)



●ペーパーフィルター
(2枚)

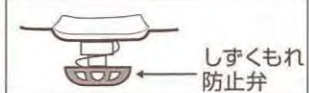
ペーパーフィルターがなくなったときは、市販のサイズ(1×2)または(102)をお求めください。

折り方



●ペーパーフィルターがフィルターケースからはみ出さないように折り幅を調節してください。

しずくもれ防止機構について



ステンレスサーバーを本体から取りはずしても、コーヒーのしずくがフィルターケースから漏れないようにするしくみです。

サーバーふたセット



スイングバスケット
(着脱式→P.11)

注ぎ口



●ステンレスサーバーをコーヒードリップ以外の目的で使用しないでください。

サーバーふたは密栓方式ではありません。転倒すると湯が漏れ、やけどの恐れがあります。

使い方

- 初めてお使いになるとき
- 長期間お使いにならなかったとき

浄水フィルター・ステンレスサーバー・フィルターケースなどを洗い、水だけで1~2回ドリップして本体内部を洗浄してください。

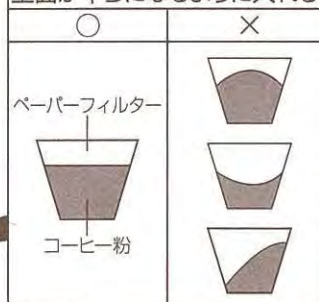
- この製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。
- この製品はコーヒーを作るためのものです。コーヒーを作る以外には使わないでください。水以外のもの(牛乳・酒・コーヒー・湯など)を水タンクに入れると故障の原因になります。
- 使いはじめはプラスチックのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。また、黒い粉が落ちることがありますが、これは浄水用の活性炭で無害ですので使用上差しつかえありません。

1 コーヒー粉を入れ、濃度を設定する

- ①スイングバスケットを開き、フィルターケースにペーパーフィルターを取りつける
- ②コーヒー粉を付属の計量スプーンで上面が平らになるように入れる
- ③濃度調節レバーで濃度を設定する
- ④スイングバスケットを閉じる

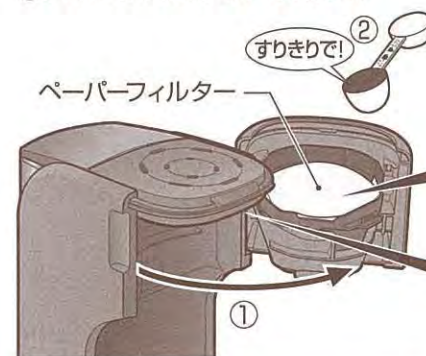
●細びき粉は使わないでください。ペーパーフィルターが目詰まりし、コーヒーがあふれる恐れがあります。

上面が平らになるように入れる

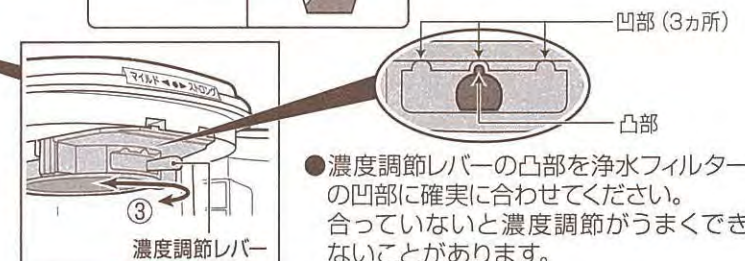


■コーヒー粉標準使用量

	カップ数	コーヒー粉量 (計量スプーン)
コーヒーカップ	5カップ	5杯(約35g)
	4カップ	4杯(約28g)
	3カップ	3杯(約21g)
	2カップ	2杯(約14g)
マグカップ	3カップ	3杯(約30g)
	2カップ	2杯(約20g)
	1カップ	1杯(約10g)



●スイングバスケットの開閉や、濃度調節レバーを合わせるときは本体が倒れないように注意してください。

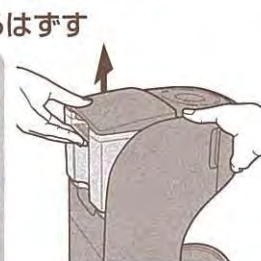


●濃度調節レバーの凸部を浄水フィルターの凹部に確実に合わせてください。合っていないと濃度調節がうまくできないことがあります。

2 水タンクに水を入れる

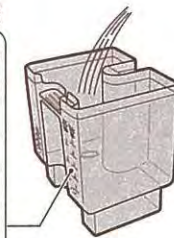
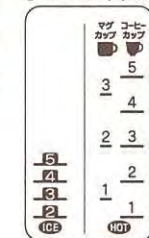
- ①水タンクを本体からははずす

●本体を押さえて水タンクをはずしてください。本体が持ち上がり、落下することがあります。
(蒸気口には手を触れないでください。)



- ②作るコーヒーの量の水タンク目盛まで水を入れ、水タンクふたを取りつける

水タンク目盛



ミネラルウォーター使用時のお願い

- 硬度200以上のものは使用しないでください。製品内部の水管に湯アカ(ミネラル分)が付着して、ドリップ時間が長くなったり、最後までドリップできなくなる場合があります。
- できるだけ硬度100以下のものを使用してください。
- 使用中にドリップ時間が長くなったときは、クエン酸洗浄を行ってください。(→P.10)

- 水タンク目盛の「HOT」コーヒーカップ 5を超える水を入れないでください。また、ドリップ中は水タンクに水をつぎ足さないでください。ステンレスサーバーからコーヒーがあふれる恐れがあります。
- 水タンクに湯を入れないでください。故障の原因になります。

使い方 つづき

3 ステンレスサーバーを予熱する

(ホットコーヒーのときのみ)

- ①ステンレスサーバーの保温効果をもとめるためにあらかじめ少量の熱湯を入れ、1分程度予熱する
- ②予熱後は、湯を捨てる



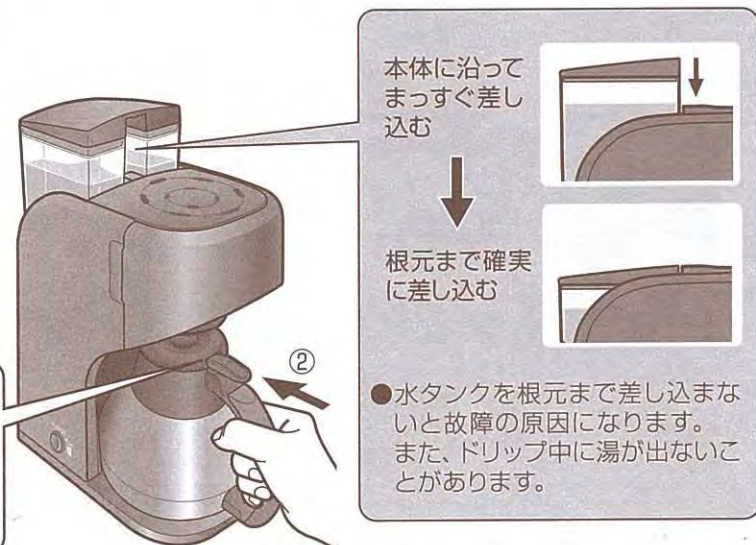
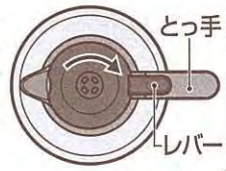
4 水タンク・ステンレスサーバーを本体に取りつける

- ①水タンクを本体に沿って根元までしっかりと差し込む
- ②ステンレスサーバーの中が空であることを確認してからサーバーふたセットを閉め、本体に取りつける

●ステンレスサーバーの中に湯やコーヒーなどが入っている状態でドリップを開始すると、ステンレスサーバーからコーヒーがあふれる恐れがあります。

●ステンレスサーバーを取りつけるときは、しずくもれ防止弁に無理な力を加えないでください。

サーバーふたセットを矢印の方向に回して、とっ手とレバーの位置が合うまで確実に閉める



本体に沿ってまっすぐ差し込む

根元まで確実に差し込む

●水タンクを根元まで差し込まないと故障の原因になります。また、ドリップ中に湯が出ないことがあります。

5 差込みプラグをコンセントに差し込み、スイッチを入れる

スイッチランプが点灯し、ドリップを開始します。



「入」側に押すとスイッチランプが点灯し、スイッチが戻る

●本体を水にぬれた場所で使用しないでください。感電の恐れがあります。

できあがり時間の目安 (水温20℃、室温20℃の場合)

カップ数	1	2	3	4	5
コーヒーカップ	2.5分	3.5分	5分	6分	7.5分
マグカップ	3分	5分	7分	—	—

●できあがり時間は、水量・室温・粉の量などで変わります。

◆途中でやめるときは…

- ①差込みプラグをコンセントから抜く
 - ②フィルターケースからコーヒーが落ちてこなくなったことを確認し、ステンレスサーバーとフィルターケースを取り出す
 - ③本体が冷めてから水タンクに残っている水を捨てる
- 水タンクをはずしたときに水タンクから水が垂れることがあります。

6 ドリップが完了したらコーヒーを注ぐ

- ①ドリップが完了すると自動的に電源が切れる(スイッチランプが消灯)

●電源が切れたあと、差込みプラグをコンセントから抜いてください。

- ②ステンレスサーバーを取り出し、サーバーふたのレバーを押しながらカップに注ぐ

●スイッチランプ消灯直後は、フィルターケース内にコーヒーが残っています。フィルターケースからコーヒーが落ちてこなくなるまでステンレスサーバーを取り出さないでください。

●ステンレスサーバーを傾けたときに、注ぎ口やサーバーふたの穴から少量のコーヒーが漏れることがあります。

●次の場合、コーヒーが漏れることがありますのでご注意ください。

- 注ぐときに必要以上に傾ける
- 持ち運ぶときに傾けたり、横抱きする
- 転倒させる

連続してコーヒーを作るときは…

- スイッチランプが消灯した状態で、本体を5分以上冷ましてから「使い方」の手順1より行ってください。
- 本体が熱いうちに給水したり、動かしたりしないでください。



熱いコーヒーをお好みの方は、あらかじめカップを熱湯などであたためてから注いでください。

保温するときは…

- サーバーふたセットを確実に閉めてください。
- ステンレスサーバーはまほうびん構造になっていますが、コーヒー温度は時間の経過とともに徐々に低下します。
- 少量のときや室温が低いときは、ステンレスサーバーにコーヒーの熱が取られ、コーヒーの温度が低くなります。
- 長時間保温すると香りがぬげ、風味が悪くなりますので、早めにお召し上がりください。

アイスコーヒーの作り方

●準備するもの●

- ◆アイスコーヒー用粉
- ◆氷



●作り方●

- ①使い方の1～5と同じ手順でコーヒーを作ります。

- ステンレスサーバーは予熱しないでください。
- 計量スプーンは「コーヒーカップ用」を使用します。
- 水量は水タンクの「ICE」の目盛に合わせます。

- ②サーバーふたセットをはずし、ステンレスサーバーに氷を入れて、かき混ぜながら冷やします。

- ③サーバーふたセットを閉めて、レバーを押しながらグラスに注ぎます。

●ご注意●

- アイスコーヒーを1カップ分だけ作ることはできません。2カップ以上で作ってください。
- 氷を入れたあとのコーヒーの液面は、図の位置までにしてください。氷を入れすぎると、コーヒーがあふれることがあります。



お手入れ

差込みプラグをコンセントから抜き、本体が冷めてからお手入れしてください。

- ご使用ごとに必ずお手入れしてください。
- 本体・コード・差込みプラグに直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。(感電・故障の原因)
- 熱湯は使用しないでください。(変形や割れの原因)
- 次のものは使用しないでください。
 - ・台所用中性洗剤以外の洗剤・シンナー・ベンジン・漂白剤など(変色・割れ・劣化・腐食の原因)
 - ・みがき粉・ナイロンたわし・ブラシ・金属製のもの・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・研磨剤入り洗剤など(表面が傷つく原因)
- 化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。(表面が傷ついたり、化学変化を起こす原因)
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器は使用しないでください。(部品変形の原因)

本体

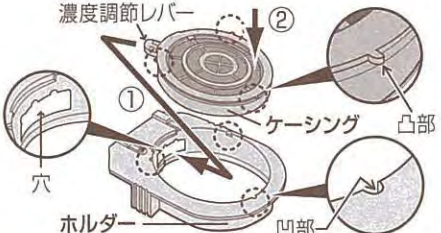
- ①薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞って、汚れをふき取る
- ②水で絞った柔らかい布でよくふく
- ③乾いた柔らかい布で水分をふき取る

水タンク・水タンクふた・スイングバスケット


- ①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う
 - ②水洗いする
 - ③乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る
- スイングバスケットは、十分に水切りをしてください。ドリップ中に水滴が垂れることがあります。

浄水フィルター

水で流し洗いし、よく乾燥させる

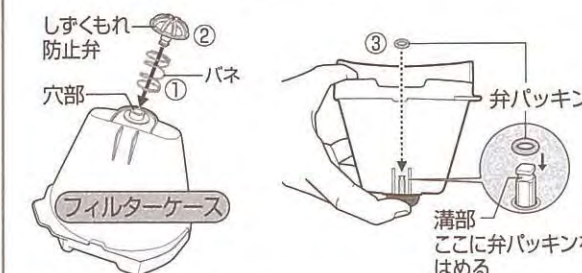
- 浄水フィルターは分解しないでください。部品がはずれたときは、下記の通りに正しく取りつけてください。
 - ①濃度調節レバーをホルダーの穴に差し込む
 - ②ホルダーの凹部(3カ所)とケーシングの凸部(3カ所)の位置を合わせて取りつける
- 
- 浄水フィルターが目詰まりしている場合は、交換(有料)してください。水質や使い方により異なりますが、約2年に1回が目安です。(1日1回使用した場合)
 - 洗剤は使わないでください。

フィルターケース

- ①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う
 - ②水洗いする
 - ③フィルターケースの中に水を入れ、しずくもれ防止弁を2~3回動かし、汚れを洗い流す
 - ④乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る
- しずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると、弁が開まらずコーヒーが漏れることがありますので毎回洗ってください。
 - 十分に水切りをしてください。ドリップ中に水滴が垂れることがあります。
 - しずくもれ防止弁は引っ張るとはずれる恐れがありますので注意してください。
- 

●しずくもれ防止弁は分解しないでください。部品がはずれたときは下記の通りに正しく取りつけてください。

- ①フィルターケースにバネを載せる
- ②しずくもれ防止弁をバネ、フィルターケース穴部に通して入れる
- ③しずくもれ防止弁を押さえた状態で溝部に弁パッキンを取りつける

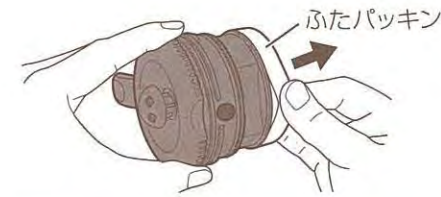


○	正しく取りつけた状態	
×	すきまなどから水漏れします。	
	歪んでいる	
	はまっていない	

コード・差込みプラグ 乾いた柔らかい布でふく

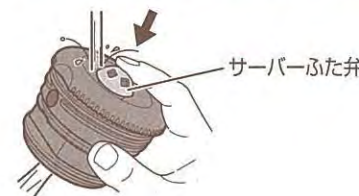
サーバーふたセット

- ①ふたパッキンを取りはずす
- ②薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので、サーバーふた・ふたパッキンを洗う
- ③水洗いする
 - サーバーふたのコーヒー液通路部は、つまり防止のため毎回水で流し洗いしてください。

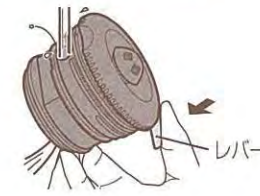


サーバーふたのコーヒー液通路部は、サーバーふた弁・レバーを押しながら、図のように流し洗いする

サーバーふた弁を押しながら



レバーを押しながら



- ④サーバーふた弁・レバーを押しながらサーバーふたを数回振る
 - 押しながら振らないと内部に残った水滴が垂れることがあります。
- ⑤水分をよくふき乾燥させる
 - 損傷していたり、パッキンが白く変色してきた場合は、交換(有料)してください。(→P.12)
- ⑥ふたパッキンを元通り取りつける

サーバーふた弁がスムーズに動かないときや、コーヒー通路部にコーヒー粉がたまっているとき、または約1ヶ月ご使用ごとに、サーバーふた弁をはずして洗ってください。

- 洗にくい部分は、市販の小型ブラシなどで洗ってください。
- はずした部品は、下記の通り正しく取りつけてください。

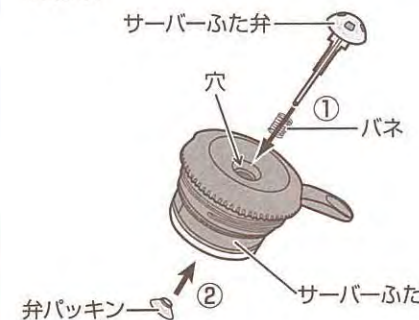
サーバーふた弁のはずし方

サーバーふた弁を押しながら弁パッキンをはずす(弁パッキン・サーバーふた弁・バネがはずれます。)



サーバーふた弁のつけ方

- ①サーバーふた弁にバネを通したあと、サーバーふたの穴に入れる
- ②サーバーふた弁に弁パッキンを取りつける



●弁パッキンは、図の向きに正しく取りつけてください。



●弁パッキンは、サーバーふた弁の先端がきっちりと出るように取りつけてください。



お手入れ っづき

ステンレスサーバー (外側)

- ①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う
- ②水洗い後、数回振る
- ③乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る

- ステンレスサーバーを水に浸さないでください。すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。

ステンレスサーバー (内側)

- ①薄めた台所用中性洗剤を含ませた柄のついたスポンジブラシなどで、きれいに内面を洗う
- ②水洗いし、乾燥させる

- 常にお手入れをしていただきますと、においを防ぎ清潔に使用していただけます。

湯の出が悪くなったら、クエン酸洗浄を行ってください。

コーヒーメーカーをお使いいただいているうちに水の中に含まれているミネラル分が製品内部の水管などに付着します。これは「湯アカ」といわれているものです。

湯アカが付着すると、湯の出具合が悪くなりコーヒーのドリップ量が少なくなったり、本体のすき間から湯漏れが発生する場合があります。

- 水質により、湯アカのつき具合はかわります。ミネラル分の多い水質の地域やミネラルウォーターなどをご使用の場合は、湯アカが付きやすくなります。
- クエン酸洗浄は約3か月に1回が目安です。湯アカは次の方法で取り除いてください。

クエン酸洗浄のしかた

●洗浄の前に必ず浄水フィルターをはずしてください。

浄水フィルターをつけたままクエン酸洗浄を行うとクエン酸のにおいがついたり、コーヒーの味がかわる原因になります。また、目詰まりにより、クエン酸溶液が漏れ出す原因になります。

●泡立ち、ふきこぼれ防止のため弊社のピカポット (ポット内容器洗浄用クエン酸) をお使いください。 (別売品) → P.12

クエン酸 (100%) は食品添加物として使用されており、衛生上無害ですが食べないでください。

- ①水タンクにクエン酸小さじ1.5杯 (約6g) を入れる
- ②水タンク目盛の「コーヒーカップ 5」までぬるま湯を入れる
- ③クエン酸がぬるま湯に溶けるまでよくかき混ぜる
- ④ステンレスサーバー (サーバーふたセットが取り付けられた状態) ・フィルターケース・スイングバスケットを本体に取りつけてスイッチを入れる (ドリップする)
- ⑤クエン酸溶液が水タンク目盛の「コーヒーカップ 1」まで減ったときに差込みプラグをコンセントから抜く
- ⑥ドリップされたクエン酸溶液を別の容器に移して冷まし、中に混ざっている湯アカ (白い結晶など) を除く
- ⑦⑥のクエン酸溶液を再度水タンクに入れ、④～⑥を繰り返す
- ⑧本体が十分冷めてから、ステンレスサーバーと水タンク内にあるクエン酸溶液を捨て、すすいだあと、クエン酸のにおいを取るために水だけで数回ドリップする (連続してドリップするときは、スイッチランプが消灯した状態で、5分以上待つ)

- 湯の出が悪い場合は再度クエン酸洗浄をしてください。

ステンレスサーバーの汚れについて

ステンレスサーバーにこびりついたコーヒーの汚れには、「象印ステンレスボトル用洗剤 [ピカポトル]」をご使用ください。 (別売品 → P.12)

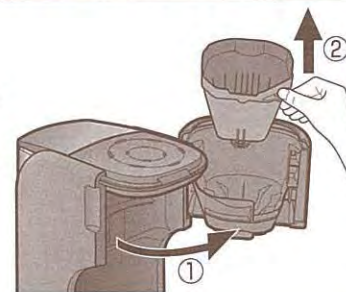
- ピカポトルはステンレスサーバー以外には使用しないでください。
- お手入れのときは、サーバーふたセットをステンレスサーバーからはずしてください。

各部のはずし方・つけ方

フィルターケース

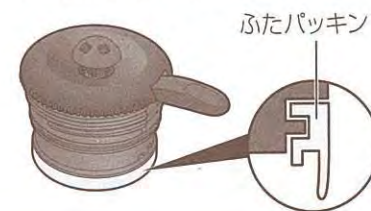
はずし方

- ①スイングバスケットを開ける
- ②フィルターケースを取りはずす



ふたパッキン

お手入れなどではずしたふたパッキンは、ねじれなどに注意して、図のように取りつける

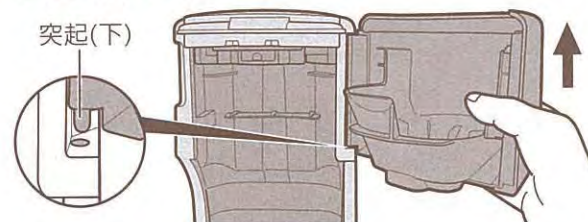


スイングバスケット

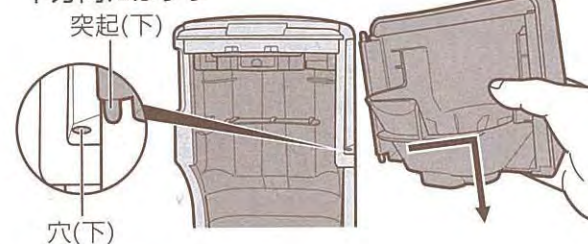
- ステンレスサーバー、フィルターケースを取りはずしてから行ってください。

はずし方

- ①スイングバスケットを全開にし、持ち上げて突起 (下) を浮かせる

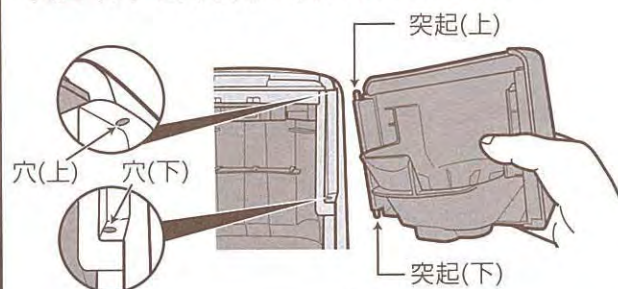


- ②スイングバスケットを矢印の方向にずらして下方向にはずす



つけ方

突起 (上) を本体の穴 (上) に差し込んでから、突起 (下) を穴 (下) に合わせてはめ込む

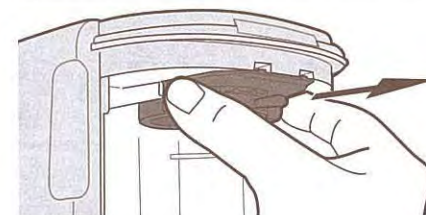


浄水フィルター

はずし方

浄水フィルターを図のように持ち、前に引き抜く

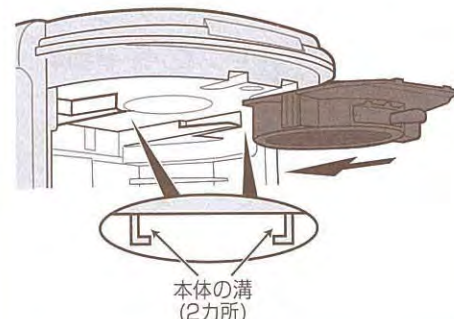
- 本体が十分に冷めてからはずしてください。 (やけどの恐れ)
- 本体が倒れないように注意してください。
- 浄水フィルターから水が出る場合があるので注意してください。



つけ方

浄水フィルターを本体の溝に沿わせて差し込む

- 奥まで確実に差し込んでください。 (水漏れや濃度調節がうまくできない原因になります。)



故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなときは	お調べいただくこと	直しかた
スイッチを「入」にしても通電しない	差込みプラグがコンセントから抜けていませんか？	差込みプラグをコンセントに差し込んでください。
湯が出ない 湯が出にくい	水タンクに水が入っていますか？	水タンクに水を入れてください。
	水タンクは正しく取り付けられていますか？	水タンクを正しく取り付けてください。
	水管に水の成分（ミネラル分）が付着して湯が出にくくなる場合があります。	クエン酸洗浄を行ってください。（→P.10）
コーヒーがぬるい （保温が効いていない）	長時間保温していませんか？	コーヒーの温度は時間の経過とともに徐々に低下します。
	コーヒーの量が少ないときや室温が低いときは、	コーヒーの温度が低くなります。
うまみ濃度調節ができない	浄水フィルターは取り付けられていますか？ また、浄水フィルターが奥まできっちりと入っていますか？	浄水フィルターを正しく取り付けください。（→P.11）
	濃度調節レバーの位置は正しいですか？	濃度調節レバーを正しい位置に合わせてください。（→P.4,5）

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
- お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。（ホームページでのご購入はP.14参照）

	部品名	部品番号
部品	コーヒーメーカー用ステンレスサーバー （サーバーふたセットつき）	SERECKT-〇〇
	コーヒーメーカー用サーバーふたセット	BG426816A-01
	コーヒーメーカー用計量スプーン	717250-01
別売品	コーヒーメーカー用浄水フィルター	EC-F02-J
	ポット内容器洗浄用クエン酸 ピカポット （30g×4包入り）	CD-KB03-J
	ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル （10g×4包入り）	SB-ZA01

〇〇表示は部品色柄記号です。
お求めの際は製品の色柄記号までご指定願います。
（側面シールに表示）

<表示例>
色柄：RA レッド
GD ダークグリーン

仕様

型名	EC-KT50
電源	交流100V 50/60Hz
消費電力	650W
容量	最大使用水量 675mL
方式	ドリップ式
コードの長さ	1.3m（ゴムコード）
外形寸法（約cm）	幅24×奥行16.5×高さ31.5
質量	約2.4kg

- 外形寸法はステンレスサーバーのとっ手を除いた寸法です。
- 特定地域（高い山・厳寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさげください。
- この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary.
After-sales service for this appliance is not available outside of Japan.

此产品只针对日本国内专用交流电压 100V 所设计。由于各国所使用电压或电源频率不同，请勿使用于其它地区。另亦无法对此提供售后维修服务。

此產品為針對日本國內專用交流電壓100V所設計。由於各國所使用電壓或電源頻率不同，請勿於其他地區使用。另亦無法對此提供售後維修服務。

본 제품은 일본 국내 교류 100V 전용으로 설계되었기에 전압이나 전원 주파수가 상이한 외국에서는 사용할 수 없습니다. A/S 또한 불가능합니다.

アフターサービス

- 1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い**
必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間**
- 3. 修理を依頼される時**
「故障かなと思ったとき」(P.12)をご確認のあと、直らない場合は使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。
《保証期間中》
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。
《保証期間を経過しているとき》
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。
- 4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間**
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 5. 修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター  **0120-345135**
フリーダイヤル
携帯・PHS OK ※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ……………TEL (06)6356-2451(有料)
- FAXでのお問い合わせ……………FAX (06)6356-6143(有料)
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。

ホームページのご案内

象印マホービン お客様サポートサイト <http://www.zojirushi.co.jp/toiawase/>

便利メモ

おぼえのため、記入されると、
便利です。

- お買い上げ日 年 月 日
- 販売店名・電話番号

Large area with horizontal dashed lines for writing notes.